

実証運行計画の策定に向けた進捗報告

○前回協議会以降の動き

令和4年8月に開催された第33回地域公共交通活性化協議会において、環状線バス、ミニバス、予約型乗合タクシーの運行内容の見直しに向けた検討を進めることについて承認を得たため、予約型乗合タクシーのE. 笛堂・萱ルート及びF. 笛吹・梅室ルートの利便性向上に資する施策を、交通事業者と連携して検討しているところである。

現在検討している予約型乗合タクシーの利便性向上施策は、ルートの延伸、バス停の追加、ダイヤの増便もしくはダイヤの見直し等である。この施策案の実現可能性等について交通事業者と調整しつつ、並行して、昨年度、利用者へのアンケート調査を実施した。

現時点において、交通事業者との協議が調っていないため、今年度も継続して、利用者等へのアンケート調査を、さらに対象者を広げたくて実施し、公共バス等の再編に向けた検討・調整等を進めていく予定である。

現在検討中の施策

- ・ルートの延伸やバス停の追加：スーパー等最寄りバス停への運行等
 - ・ダイヤの増便や見直し：朝9時台の運行、10～17時台での増便等
- ※上記の中から、交通事業者と協議のうえ実施する予定。